

御井校区青少年育成協議会の活動について



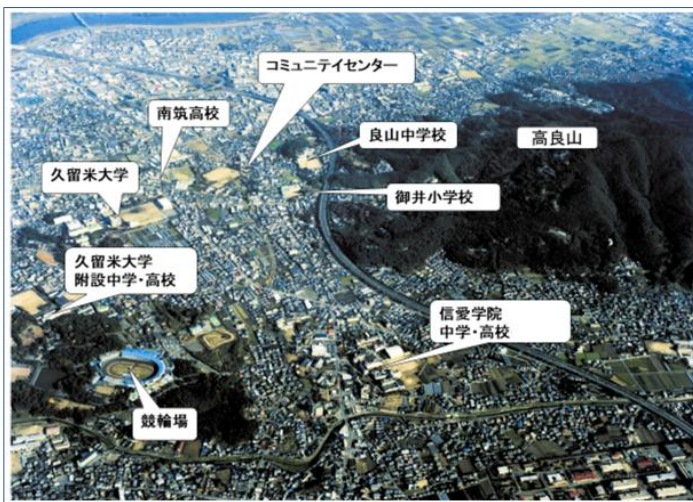
御井校区青少年育成協議会会長 矢野 彰

1. 御井校区の概要

御井校区は、耳納連山の西端に位置する高良山の麓にあり、高良大社の門前町の府中宿場として栄えた歴史ある町です。
また、校区内には小学校1校・中学校3校・高校3校・大学1校が設置され、多くの若者が在住し、通学する市内随一の文教の町でもあります。

人口	9,239人	市内13位
構成比	0～14歳	12.5% 市内15位
	15～64歳	60.5% 市内12位
	65歳以上	27.0% 市内13位
世帯数	4,823世帯	市内11位
自治会数	16自治会	
小学校児童数	442人	市内20位

令和4年4月1日時点



御井町が生んだスタートといえば・・・

「ミスター競輪」と呼ばれた、中野浩一氏！



2. 御井校区青少年育成協議会の組織体制

- ・会長（1名）
- ・副会長（1名）
- ・事務局長（1名）
- ・会計（1名）
- ・事務局員（3名）市委嘱の青少年育成指導員
- ・監事（2名）
- ・理事（16名）各種団体の長など
- ・委員（26名）自治会長、単位自治会選任の青少年指導員など

3. 青少年育成協議会の活動スケジュール

時 期	行 事	備 考
5 月	良山中学校体育祭での警戒警備	良山中3校区合同
7 月	御井町っ祭でのパトロール	良山中3校区合同
7 月	御井っ子サマースクール	
8 月	合川サマーフェスタでのパトロール（合川校区）	良山中3校区合同
9 月	動乱蜂火火大会でのパトロール（山川校区）	良山中3校区合同
11 月	御井校区暴力絶滅・青少年健全育成大会	
12 月	ふれあいもちつき大会	
2 月	久留米市少年健全育成駅伝大会	
3 月	良山中学校卒業式における警戒警備	良山中3校区合同
3 月	御井校区立志式	

4. 主な活動内容

①御井っ子サマースクール

【時期】 7月末

【対象】 小学4～6年生

【内容】 1泊2日の日程で、いろいろな施設での体験学習や宿泊訓練などを実施子ども会と共同開催。

年 度	内 容	宿 泊	参加数
R5	サンビレッジ茜(人工芝スキー)、青少年科学館 など	サンビレッジ茜	28名
R6	ラウンドワnstadium(スポーツチャレンジ)、佐野常民記念館、青少年科学館 など	城島ふれあいセンター	37名
R7	JR列車移動、とうもろこし収穫、福祉施設見学・体験、陶芸教室 など	野中生涯学習センター	17名

R5:サンビレッジ茜(ウォークラリー)



R5:サンビレッジ茜(人工芝スキー)



R5:サンビレッジ茜(夕食づくり)



R6:佐野常民記念館・三重津海軍所跡



R6:ラウンドワnstadium(スポーツチャレンジ)



R6:城島ふれあいセンター(夕食づくり)



R6:城島ふれあいセンター(交流会)



R6:青少年科学館



R6:閉校式(終了証書)



R7:JRでの移動(子供だけで乗車)



R7:とうもろこし収穫体験



R7:福祉施設見学・体験(ゆうかり学園)



R7:陶芸教室(耳納学園)



R7:交流会(野中生涯学習センター・御井校区コミセン)



4. 主な活動内容

②ふれあいもちつき大会

御井小学校3年生児童全員が参加し、老人クラブの方々ともちつきをして伝統文化を学び、地域との交流にもなっています。
また、久留米大学の留学生も招待し、国際交流にも取り組んでいます。



4. 主な活動内容

③立志式

中学校を卒業する生徒を対象に、義務教育を修了し、それぞれの夢に向かって自立していく子供たちの前途を祝して式典等を開催しています。

- ・対象 御井校区在住又は御井小学校を卒業した中学3年生
- ・内容 全卒業生夢発表(ステージ上)
記念講演(R6は久留米警察署生活安全管理官)
記念写真撮影
※当日はくーみんTVのカメラの前でも夢発表

なお、当日は「**成人となった自分への手紙**」を集めています。
この手紙はコミュニティセンターで保管し、成人式の時に本人に届けています。



参加者は生徒と恩師の先生方のみ



5. 新たな取り組み

～子育て支援活動～ 《食を助け隊・府中子ども食堂》

【目的】

子たくさん及び貧困家庭の児童等への食品提供・食事提供や学習支援、生活支援を実施しながら、子どもと地域とがつながる場を提供する

【取組内容】

- ・令和3年4月、校区青少協役員・事務局を中心に「食を助け隊」を結成
- ・「フードバンク久留米」と契約し食品等調達、配布をスタート
- ・学校を通じて、案内文書を配布し保護者に周知
- ・令和4年6月、支援食料等を調理し食事を提供する、子ども食堂活動をスタート（無料）
- ・現在、市内の団体・企業・個人の約20か所から食料支援を受けている
フードバンク久留米、社会福祉協議会、JA久留米、ピザラ等 『感謝!!』

《食を助け隊・府中子ども食堂》

月2回(第2・4木曜日)、20世帯程度に食品や食事を提供
スタッフ10名程度、各人ができる範囲での活動を実施中



6. 今後の活動展開

- ・子供たちがもっと笑顔になれる活動に取り組む
⇒すべての活動が子供を中心に
- ・地域との連携は大事だが、スリム化、簡素化も必要
⇒行事参加者の見直し、慣習にこだわらないなど
- ・文教の町という利点も生かして学生の参画も促進
⇒若者の発想、行動力に期待

7. 最後に……



ご清聴ありがとうございました



★ちょっとPRさせてください！

私、「日本酒で語ろう会」の会長 でございます。

